

とやまDXパートナー登録情報

事業者名				株式会社シーイーシー			
代表者		代表取締役社長 姫野 貴		問合せ先		なし 久保亮祐	
所在地		東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル		電話番号		0357892441	
会社設立日		昭和43年2月24日		Webサイト (問合せフォーム)		https://www.cec-ltd.co.jp/corporate/outline.html	
従業員数(人)		2470					
営業エリア							
☒ 県内全域 その他 富山市 砺波市 立山町 高岡市 小矢部市 入善町 魚津市 南砺市 朝日町 氷見市 射水市 滑川市 舟橋村 黒部市 上市町							
得意業種(上位5項目)							
☒ 製造業 ☐ 卸売・小売業 ☐ 建設業 ☒ 医療、福祉 ☒ 運輸業、郵便業 ☐ 金融業、保険業 ☐ 宿泊業、飲食サービス業 ☐ 不動産業、物品賃貸業 ☐ 教育、学習支援業 ☐ その他サービス業 ☐ その他							
支援可能分野							
別紙のとおり							

使用可能ツール・システム

Power Platform（マイクロソフト社製品）
PowerBI(マイクロソフト社製品)
XC-Gate(テクノツリー社製品)
Facteye(当社製品)
SmartFollow(当社製品)
FANUC FIELD system Basic Package(ファナック社製品)
OPCサーバー
Node-Red

支援実績

■DX伴走支援サービス
(一例)
顧客:セラミックス・ガラス・結晶材料の受託加工会社
規模:従業員名 50～100名

■課題
ミス発生:人手によるチェックで品質がばらつき、加工ミスや不良品が発生
データ入力の信頼性: 手書きのチェックリスト管理で、オペレーターの増加に伴い不安定

■導入経緯
FANUC FIELD system Basic Packageを検討したものの、XC-Gateとの連携が必要と判明し、
FANUC FIELD system Basic Packageの導入実績が多い、当社へ相談。
当社からの提案:XC-Gateを用いたチェックシート電子化および自動化を提案、正式に採用。

■導入技術
FANUC FIELD system Basic PackageとXC-Gateを組み合わせ、帳票の自動化を実現。

■導入効果
ミスゼロの実現:チェックシート電子化により、入力ミスがなくなり不良品発生がゼロに。
業務負担の軽減:Excelシートの自動生成で、事務担当者の作業時間が大幅に削減。
データ収集: 工場のIoT化が進み、DXの基盤を確立。

■今後の展望
さらなる自動化:製品種別に応じたデータの自動入力機能の拡張を計画中。
当社との伴走支援:導入・設定を当社が支援し、今後の改善要望に対応。
製造ラインのDXにも着手見込み

■その他DX伴走支援の実績
・システムにおける現場運用の把握・課題整理、及びある姿の策定(AS-IS TO-BE)
・RFP作成支援
・システム導入支援(スクラッチ開発＋当社パッケージ製品、外販パッケージ製品の組合せ)
・現状把握のためのデータ取得支援
・データ活用支援(加工機、加工管理システム、AMR、自動加工システムの基盤構築)

■取引実績のある顧客規模(抜粋)
・A社(製造業) 売上:約3000億 従業員:約1500名
・B社(製造業) 売上:約3000億 従業員:約3500名
・C社(製造業) 売上:5000億以上 従業員:約5000名以上
その他製造業での取引企業様1000社以上、設備情報の可視化、データ基盤の構築、AIの活用等トータルでご支援させていただきます。

価格体系の公開状況

☒ 基本的な料金を公開している

【別紙】支援可能分野(複数選択)

①業務のデジタル化に向けた環境整備

- ☐ ペーパーレス化の推進支援(紙書類の電子化・ワークフロー化・文書共有システム導入支援等)
オンライン会議システムの導入・活用支援
- ☐ コミュニケーションツール(チャット・共有・タスク管理等)の導入支援
- ☐ 生成AIの業務活用環境の導入支援(プロンプト設計、社内利用ルール整備、活用トレーニング)
- ☐ クラウドサービス利用環境の構築(メール、ストレージ等の基本的SaaS設定・移行)
- ☐ 勤怠・人事評価などバックオフィスのクラウド化支援
オンライン研修・eラーニング環境の導入支援
- ☐ 社内情報共有ポータル構築支援(規程・マニュアルの電子化／ナレッジ共有基盤構築)

②業務プロセスのデジタル化・自動化

- 電子契約システム導入支援
- オンライン決済システム導入支援
- ☐ RPA導入支援(業務分析、ロボット作成・定着支援)
- ☐ SFA／CRM導入支援(顧客情報管理、営業支援システムの導入・活用)
Webサイト・ECサイトの構築・改善支援
- ☐ データ分析基盤の構築支援(販売・顧客・業務データの可視化、簡易BI導入 等)
- ☐ IoTデバイス導入の初期支援(設備データの可視化、センサー導入、モニタリング)
- ☐ AIチャットボット導入支援

③デジタル技術を活用した業務最適化

- デジタルマーケティング戦略支援(SNS・SEO・広告・MA活用 等)
- ☐ 予知保全システム導入支援(設備データ分析等)
- ☐ 物流・在庫の最適化支援(IoT・AIを活用した在庫管理・配送最適化)
- ☐ スマートファクトリー化支援(設備連携、品質データの自動収集、工程データの最適化)
パーソナライズ顧客体験の提供支援(レコメンド、顧客行動分析 等)
- デジタルツイン構築支援
- ☐ VR／ARを活用したシミュレーション・トレーニング支援
- ☐ データドリブン経営の導入支援(KPI設計・経営ダッシュボード作成)
- ☐ AI／機械学習の導入支援(モデル作成、画像認識、不良検知、需要予測 等)
- ☐ サイバーセキュリティ高度化支援(ゼロトラスト導入、継続的な脆弱性診断 等)

④デジタル技術を活用したビジネス変革・価値創造支援

- ☐ ビッグデータ分析・可視化支援
経営レベルでの生成AI活用支援(戦略策定、仮説設計、マネジメント活用)
ブロックチェーン活用支援
CO2可視化・削減システム導入支援
- ☐ 企業間データ連携・エコシステム構築支援
新たなデジタルビジネスモデル創出支援(サブスク、プラットフォーム、デジタルサービス)
DX文化醸成・組織変革支援(意識改革、アジャイル体制整備、DX推進体制構築)

会社概要

社 名	株式会社シーイーシー Computer Engineering & Consulting Ltd.
設 立 年 月 日	1968年2月24日
上 場 年 月	2022年4月（プライム市場） 2001年7月（東証一部）
資 本 金	65億8千6百万円
売 上 高	562億8百万円（2025年1月期）
従 業 員 数	2,470名（2025年4月1日現在）
代 表 者	代表取締役社長 姫野 貴
保 有 資 格 等	■ JQA認定 ・品質マネジメントシステム ISO9001:2015 登録証番号JQA-1481 ・情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27001 登録証番号JQA-IM0007 ・クラウドサービス情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27017 登録証番号JQA-IC0040 ・ITサービスマネジメントシステム ISO/IEC20000 登録証番号JQA-IT0005 ・環境マネジメントシステム ISO14001:2015 登録証番号JQA-EM7701 ■ プライバシーマーク認定事業者 11820032(14)

役員および執行役員構成

代表取締役社長	姫 野 貴
取 締 役 (兼) 執 行 役 員	高 木 英 樹
取 締 役 (兼) 執 行 役 員	大 北 敦 司
取 締 役 (兼) 執 行 役 員	酒 井 靖 男
取 締 役 (兼) 執 行 役 員	江 上 太
取 締 役 (兼) 執 行 役 員	石 原 直 樹
取 締 役 (監 査 等 委 員)	境 俊 治
社 外 取 締 役	高 橋 静 代
社 外 取 締 役	小 杉 乃 里 子
社 外 取 締 役	名 和 亮 一
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員)	谷 口 勝 則
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員)	國 安 幹 明
執 行 役 員	柿 沼 讓
執 行 役 員	山 縣 勝 一
執 行 役 員	土 岐 直 路
執 行 役 員	高 井 英 行
執 行 役 員	田 藏 慎 一 郎

拠 点

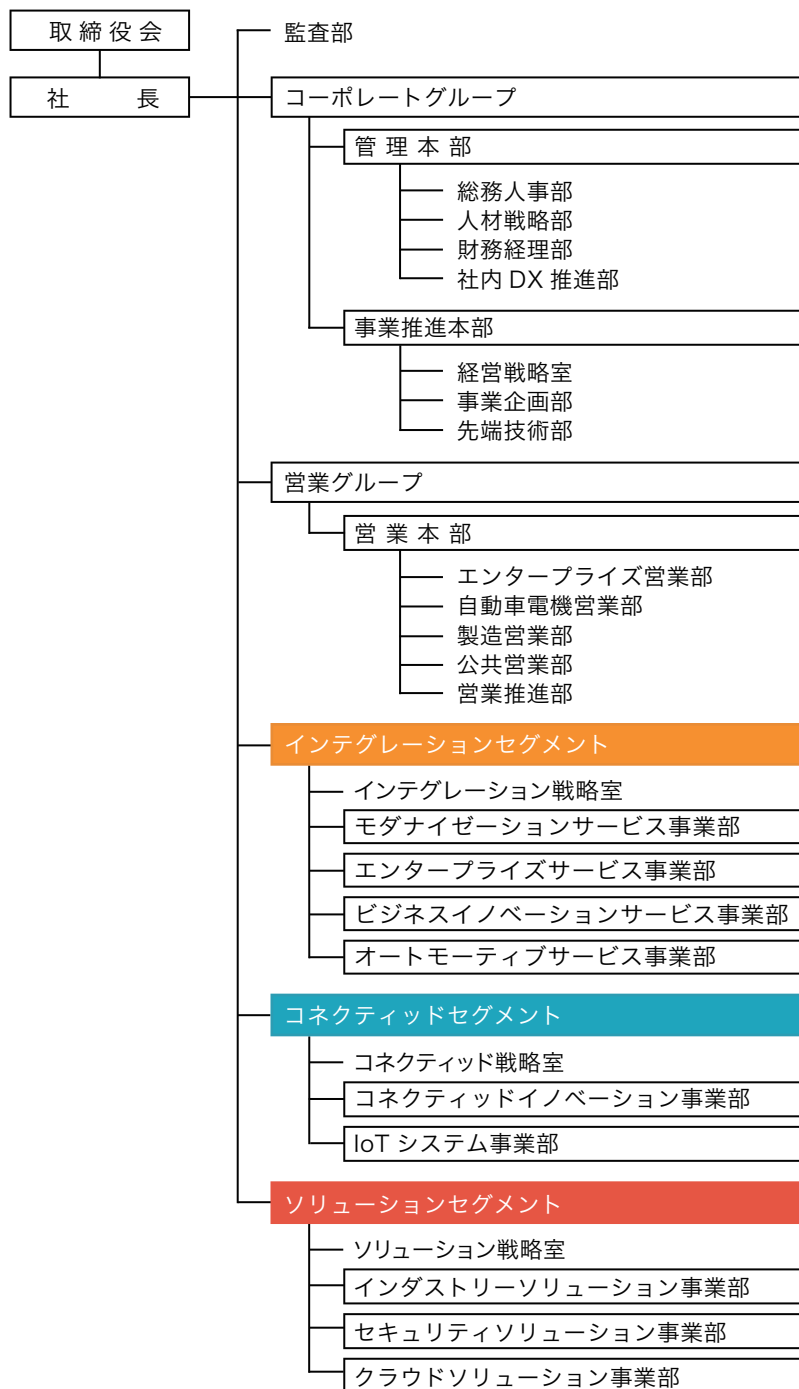
■ 本 社	
東 京 (恵比寿)	
〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル8F TEL:03-5789-2441 FAX:03-5789-2581
■ イノベーションセンター	
東 京 <品川イノベーションセンター>	
〒108-6012	東京都港区港南2-15-1 品川インターシティ A棟12F TEL:03-5783-3160 FAX:03-5783-3165
■ 事業所	
名 古 屋	
〒460-0003	愛知県名古屋市中区錦2-20-15 広小路クロスタワー10F TEL:052-211-4440 FAX:052-211-5363
大 阪	
〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原1-6-1 新大阪ブリックビル8F TEL:06-6396-3456 FAX:06-6396-3444
福 岡	
〒812-0025	福岡県福岡市博多区店屋町8-30 博多フコク生命ビル9F TEL:092-262-2801 FAX:092-262-2805
富 山	
〒930-0029	富山県富山市本町9-10 大同生命富山ビル2F TEL:076-441-4381 FAX:076-433-0590
豊 田	
〒471-0027	愛知県豊田市喜多町1-140 ギャザビル4F TEL:0565-35-2821 FAX:0565-35-2831
宮 崎	
〒885-0071	宮崎県都城市中町1-7 BTV IT産業ビル8F TEL:0986-45-0351 FAX:0986-45-0358
■ システムラボラトリ	
神 奈 川 <さがみ野システムラボラトリ (本店) >	
〒252-8567	神奈川県座間市東原5-1-11 TEL:046-252-4111 FAX:046-251-9230
神 奈 川 <宮崎台システムラボラトリ>	
〒216-0033	神奈川県川崎市宮前区宮崎2-9-16 TEL:044-853-6295 FAX:044-853-2341
大 分 <大分システムラボラトリ>	
〒870-0035	大分県大分市中央町1-1-3 朝日生命大分ビル3F TEL:097-532-0414 FAX:097-500-0533

事業内容

■ インテグレーション事業
お客様の潜在ニーズを具現化し、牽引型インテグレーションで社会・顧客課題の解決をサポートします。
■ コネクティッド事業
産業の垣根を超えて、お客様企業や事業をデジタル技術とデータでつなぎ、創造社会に貢献します。
■ ソリューション事業
セキュリティ技術とデータセンターサービスを活用し、お客様の多様な分野に対応したソリューションを提供します。



組織図



インテグレーションセグメント

蓄積した現場ノウハウに先端技術を組み合わせた知見で、システム構想の企画、設計・開発から運用・保守に至るまでワンストップでのサポートを提供いたします。オーダーメイドのシステム開発にとどまらず、業務パッケージやクラウドサービス導入、レガシーシステムのモダナイゼーションなど、ICTに必要不可欠なパートナーとして、お客様の業務課題や社会課題解決に貢献いたします。

コネクティッドセグメント

国内トップクラスの製造業との長年の取引において、デジタル技術を磨き続け、新たなサービス開発やビジネス創出を支援してきました。それらの経験やお客様との信頼関係を活かし、ビジネスイノベーターとしてデータを起点とした企業間・産業間の「つながり」による価値提案を行い、創造社会に貢献します。

ソリューションセグメント

「安全安心で便利な社会の実現」を目標に掲げ、公共・文教、医療、物流、交通、防災・防犯といった重点分野に注力します。開発サービスを通じて培った分野別の専門知識を基盤に、高度なデータ管理やプライバシー保護を担保するデータセンターと最先端のセキュリティ技術を活用し、業界特化型のソリューションをお客様に提供します。また、異業種間でのデータ連携や利活用を通じて、業界横断型の革新的な課題解決を支援します。これにより、社会全体の効率化や安全性の向上を目指し、新たな価値を創出するための取り組みを積極的に展開してまいります。

主な連結子会社

会社名	本社所在地	事業内容
フォーサイトシステム株式会社	福岡	システム開発、構築、保守ならびに運用サービス
株式会社シーイーシーカスタマサービス	神奈川	システム構築、ICT導入支援および運用サービス
大分シーイーシー株式会社	大分	システム開発サービス
情報システムサービス株式会社	大阪、東京	システム開発、およびパッケージの開発・販売
希意禧（上海）信息系統有限公司	上海（中国）	パッケージ導入支援サービス
株式会社コムスタッフ	福岡	人材派遣事業



受託加工の帳票を電子化し
加工機への投入データを自動チェック
人への依存から脱却することで
ミスによる不良品発生をゼロに

課題

- オペレーターが増えたことでチェックミスが増大、不良品が発生する危険性が高くなった
- お客様から材料を預かって加工しているため、不良品の発生をゼロにしたかった
- 人に依存したチェック体制では個人差が生じ、チェック品質の個人差を補完し向上するにはツールが必要だった

効果

- 加工に必要な情報を自動的にチェックすることで、不良品の発生がゼロになった
- 顧客に提出する「検査データ」も自動生成され、事務職員の負担が軽減した
- 工場設備からのデータ収集が可能になったことで、工場DXへの道も拓かれた

導入の背景・課題

重要なのは不良品を出さないこと

1970年に「三立金属工業所」として設立され、1990年に現在の社名に変更したサンリツテクノ株式会社（以下 サンリツテクノ）。当初はフェライトマグネットや磁気を利用したフロッピーヘッド部品などの製造を行っていたが、1993年にフェライト向け平坦化技術を応用した鏡面研磨技術を確立。現在ではその研磨技術を応用し、半導体製造のための基材などの受託加工を中心に事業を展開している。

同社のビジネスモデルは、顧客から加工対象となる部材を受け取り、それらを切断・研削・研

磨・マシニングセンターで顧客の仕様通りに精密微細加工を行い、加工したものを納品するというもの。最大直径500mmのセラミックスに対して精度3ミクロンの凹面研削を実現するなど、極めて高い加工技術を有している。

「この仕事で重要なことは、お客様の要求仕様通りの加工を確実にし、ミスによる不良品を出さないことです」と語るのは、サンリツテクノで代表取締役を務める石井 昌典氏。不良品を納品しないことはもちろんのこと、納品前の加工ミスもできる限りゼロにすることが求められているのだという。

「私たちはお客様の材料をお預かりして加工を行っているため、加工に失敗するとその材料を無駄にすることになります。材料によっては1

つのミスで、お客様に大きな損失が発生させることもあるのです。多くの場合、このような損失はお客様側が引き受けてくださいますが、不良が発生すればその原因や対策を明確にして、お客様に責任を果たしていくことが重要になります」と石井氏は語る。

人依存のままではミスの回避は困難

これまででは、ミスをゼロにすることは決して簡単ではなかったと振り返る。加工機で使用する加工プログラムの選択や加工データの作成、それらのチェックが、人手で行われていたからである。

以前のサンリツテクノではこのような情報の作成が、「チェックリスト」と呼ばれる紙のシート



サンリツテクノ 代表取締役 石井 昌典氏

に手書きすることで行われてきた。1回の加工に必要な情報は数十行あり、加工機を扱うCNCオペレーターが少人数であった頃には、やるべきことが「当たり前」にわかっていたからだと石井氏は振り返る。

しかし業務拡大に伴いCNCオペレーターの数が増えていったことで、以前は「当たり前」だったことが当たり前ではなくなっていく。その結果、人による「チェック品質のばらつき」が生じるようになっていったのだ。

「チェック漏れがどのような頻度で発生するかは、人によって大きく異なります。ほとんどミスが発生しない人もいれば、単純なミスを繰り返してしまう人もいます」と石井氏。

ミスが発生する可能性があるのは、加工機への入力の際だけではない。加工のための管理データの中から顧客が必要とする「成果物の検査データ」を抽出し、それを顧客提出用のExcelシートに転記するという業務も行われているが、ここでもミスが発生する危険性があるという。

「お客様からは『誰が担当してもミスが発生しない管理』が求められています。しかし人に依存したままでは、その実現は困難だと感じていました。チェック方法を標準化してそれを徹底するというアプローチもありますが、それでも人によるミスをゼロにすることはできないでしょう。この問題を解決するには、人によるチェックで生じる個人差を補完し、チェック品質

の向上ができるツールが必要でした」と石井氏は語る。

導入経緯 (ソリューション選定)

シーイーシーが提案した 帳票電子化を採用

サンリツテクノがこの課題解決に向けて動き出したのは2023年12月。主力となっている加工設備がファナック株式会社(以下 ファナック)製のものであるため、まずはファナックに相談を持ちかけることになった。ここでまず紹介されたのが、FANUC FIELD system Basic Packageである。

これは、製造設備とイーサネットで接続することで、ファナック製機器や他社の産業機械、PLCなどから設備機器データを収集。それらを「標準化された共通データモデル」として格納し、統合データベースで一元管理できるというものだ。ファナックはこの提案とともに、導入パートナーも3社紹介している。その中に含まれていたのがシーイーシーだった。

FANUC FIELD system Basic Packageのような仕組みがあれば、加工機にデータが投入された段階でそのデータを収集し、加工を開始する前にミスを発見することが可能になる。しかしサンリツテクノは、これだけでは不十分だと判断。加工機にデータを投入する前段階でも、ミスを発見できる仕組みが必要だと考えていたのだ。

ファナックからの提案を受けた後、サンリツテクノは紹介された3社にこのような話を持ちかけ、提案を募っている。その中で最終的に選ばれたのが、シーイーシーの提案だった。

その内容は、FANUC FIELD system Basic PackageとXC-Gate(エクシーゲート)を組み合わせ、チェックシート(帳票)そのものを電子化および自動化するというもの。XC-GateはExcelシートと同じようなイメージで帳票をWeb画面に変換し、タブレットなどを使って現場で入力・参照できるというソリューションだ。オフィスだけではなく作業現場でも使いやすいため、製造業をはじめとするさまざまな業界で採用されている。

パッケージの 組み合わせであることも評価

この提案を採用した理由について、石井氏は次のように説明する。

「XC-Gateには、事前にマスターデータを作成しておくことで入力データをチェックできる機能があり、入力段階でのミスを発見しやすくなっています。ここでチェックを行い、さらに加工機に投入したデータをFANUC FIELD system Basic Packageからフィードバックし、XC-Gate上で電子化されたチェックシートと自動照合すれば、万全のチェック体制になると考えました。またこのような仕組みを独自開発するのではなく、パッケージソフトの組み合わせで提案してくれたことも重要です。私たちは普段の仕事が忙しく、システム専任の担当者を置くことが難しいからです」。

シーイーシーの提案内容は、まさにサンリツテクノが求めていたものだったと石井氏。その提案を、話を持ちかけた翌週に行ったスピード感も、高く評価したという。

「シーイーシーから提案を聞いた時点で、すでに気持ちが傾いていました。その後さらに検討を行った上で、2024年3月にシーイーシーの提案を正式採用することに決定しました」と石井氏は語る。

この決定を受けてまず行われたのが、XC-Gate



サンリツテクノ 製造技術 鈴木 康享氏

加工プログラムの選択 各種データ投入

紙のチェックシート

顧客に提出する検査データ (Excelシート)

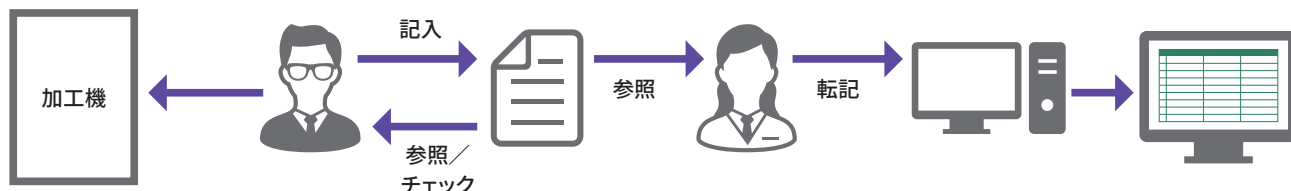


図1:システム導入前の業務フロー

によるチェックシートの電子化である。この作業を2024年7月までに完了させ、さらに製品種別ごとに入力データをチェックするためのマスターデータの作成が進められていく。

「作成したマスターの数は、30～40種類に上ります」と語るのは、システム導入を担当しているサンリツテクノ製造技術の鈴木 康享氏。これらのマスターには製品種別ごとの基準値が設定され、その範囲を超えるとアラート表示されるようにしているのだと説明する。これと並行して2024年9月にはFANUC FIELD system Basic Packageの導入も行われ、XC-Gateとのデータ連携が進められていく。そしてその約2カ月後には、これらの試験運用が始まるのである。



オペレーターがタブレット上のXC-Gateの帳票画面を見ながら、加工機へのデータ入力を行っている様子

構築システムと導入効果

不適切な入力はアラート色で表示

システム構成図と新たな業務フローは図2に示す通りだ。

まずタブレットでXC-Gateの帳票画面を表示し、製品種別や加工機を選択を行い、加工に必要な各種データを入力していく。入力データが製品種別ごとのマスターの基準値から外れている場合には、赤色のアラート表示が行われる。ただし、その数値のまま加工機にデータを投入し、加工を行うことも可能。このような「特例の加工」が求められるケースもあるからだ。

加工機へのデータ入力は、XC-Gateの画面を見ながら手作業で実施する。参照するものが紙のチェックシートからタブレット上のXC-Gate画面に変わっただけで、作業内容自体は変わらない。

加工機に投入されたデータは、FANUC FIELD system Basic Packageを介してXC-Gateへとフィードバック。ここで入力の元になったチェッ

クシートと照合され、入力ミスがないことが確認される。

顧客に提出する「成果物の検査データ」のExcelシートも、XC-Gateで自動的に生成される。データの転記を行うことなく、ボタン1つで作成されるのである。

チェックの自動化で不良品がゼロに

「XC-Gateの画面で入力データがチェックされ、問題があればアラート表示されるため、ミスを見つけやすくなりました」と鈴木氏。また入力作業そのものも、紙に記入するより楽に行えるという。「自分のミスで不良が発生したときは精神的なダメージも大きいのですが、今ではその不安からも解放されています。実際にこのシステムの試験運用を開始してから、不良の発生はゼロになりました」と鈴木氏は語る。

「成果物の検査データ」のExcelシートが自動生成されることで、作業負担の軽減も実現されている。以前はこのデータ転記作業を事務担当の従業員が行っており、1日2時間程度の作業

が必要だったが、これがゼロになったのだ。

しかし「業務負担の軽減は副産物に過ぎません」と石井氏。このシステムの最大の効果は「人間のミスをなくすこと」であり、「ミスによる不良品発生をゼロにすること」なのだという。

「今ではどのオペレーターがデータを作成・投入しても、システムが自動的にチェックして間違いを教えてくれるため、不良品は発生しなくなりました。このようなボトムアップの実現は、私たちが長年にわたって求めてきたことであり、お客様にとっても望ましいことだと思います」と石井氏は語る。

今後の展望と期待

IoTによる工場DXの基盤も確立

今回シーイーシーが提案したシステム導入で最も注目すべきことは、ソフトウェアパッケージの組み合わせによって、サンリツテクノが求める仕組みを確立できたことだと言えるだろう。このアプローチはITの専門家を確保しに

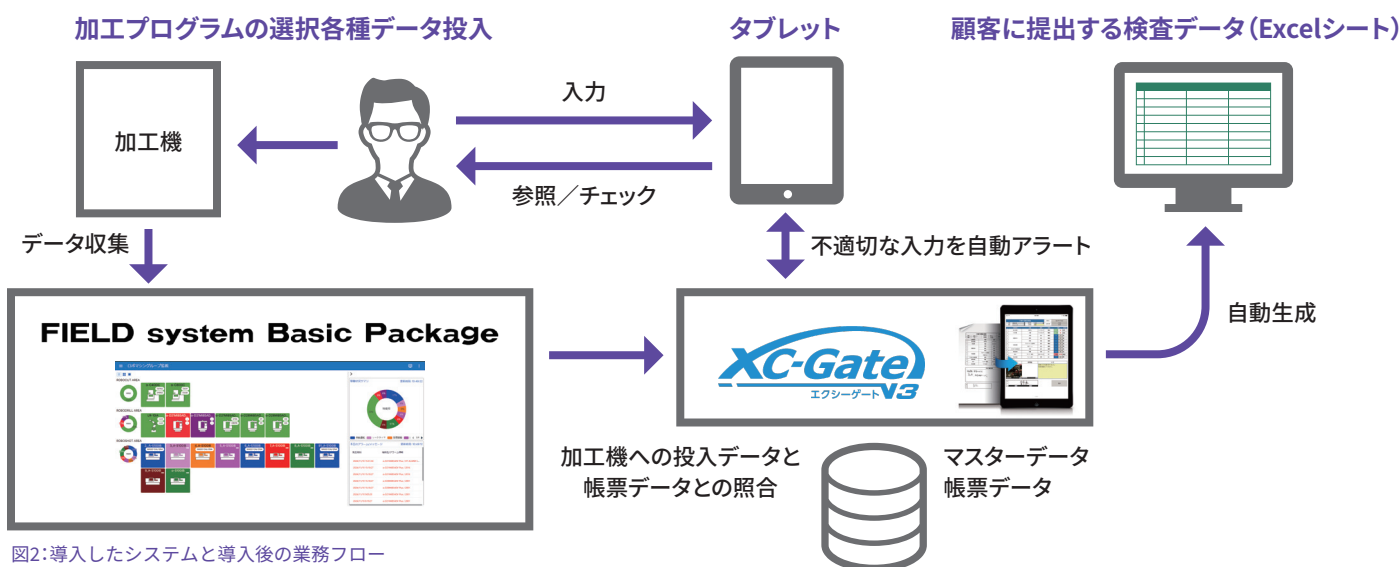


図2:導入したシステムと導入後の業務フロー

FANUC FIELD system Basic Package / XC-Gate / DX伴走支援サービス

導入事例

くい中小企業でも採用しやすい上、独自開発に比べて導入コストを抑えることも可能。機能のアップデート不具合の修正をソフトウェアベンダーに任せられるため、保守工数も最小限に抑えられる。

また単に帳票を電子化できただけではなく、設備データの収集が可能になったことで、IoTによる工場のデジタル化を実現できたことも、注目すべきポイントだと言えるだろう。収集されたデータを活用することで、工場DXを進めていくことも容易になったのだ。

「FANUC FIELD system Basic PackageとXC-Gateを組み合わせたこのシステムをベースにすることで、今後さらに管理の幅を広げることが可能になるはずだ」と石井氏。

その一方で鈴木氏は「これからは自動化できる範囲を拡大し、人による手入力を少なくしていきたい」と語る。「例えば、製品種別を登録して加工機を選択すれば、研磨に使用する砥石の番号が反映される、といったことを考えています。システムが自動入力する項目が増えるほど、人によるミスが発生しにくくなるからです」と鈴木氏は説明する。

シーイーシーの伴走支援に 今後も期待

そしてもう1つ見逃せないのが、システムの導入・設定をシーイーシーがすべて担うのではなく、伴走支援を行っていることだ。マスターデー



タの作成など、実際に手を動かすのはサンリツテクノの担当者（鈴木氏）であり、シーイーシーはその支援に徹しているのである。

「FANUC FIELD systemとXC-Gateを連携させたシステムはこれが初めてだと聞いていますが、シーイーシーは私たちの疑問に対してきちんと対応してくれたため、着実に前進することができました」と鈴木氏。このようなパートナーがいることは大きな安心感につながっていると述べる。

また石井氏は「最終的には完全な自走を目指していますが、支援なしでは難しいため、今後もシーイーシーに伴走支援を続けていきたいと考えています」と語る。

現在（2025年1月）でも現場からの改善要望を受けている、シーイーシーの伴走支援を続けながら、試行錯誤をもってDXの実現を目指している。このシステムがその後どのように拡張・活用され、サンリツテクノの業務を変えていくのか。これからは目が離せないと言えるだろう。

お客様プロフィール

サンリツテクノ株式会社様

設立 : 1970年7月
本社 : 山梨県笛吹市石和町井戸211-4
資本金 : 1,500万円
従業員数 : 34名（2025年2月現在）
事業内容 : セラミックス・ガラス・結晶材料の受託加工
URL : <http://www.sanritsutechno.co.jp/>

1970年7月に設立され、1990年代から鏡面研磨技術を活用した事業を展開する、セラミックス・ガラス・結晶材料の受託加工メーカー。切断・研削・研磨・マシニングセンターによる精密微細加工技術によって、平坦化・鏡面研磨や球体研磨、平面度をコントロールした精密研削、大口径セラミックスの凹面研削加工、多角形アライメント切断などの加工を行っている。多品種少量生産から量産化まで対応し、素材の持つ新しい可能性を提供し続けている。



※ 記載されている内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。 ※ 本カタログ中に記載の会社名および商品名などは、一般的に各社の商標または登録商標です。
※ 製品名・企業名・役職名など、記載の情報は取材時のもので、閲覧時には変更されている可能性があります。

お問い合わせ



株式会社 **シーイーシー**
Computer Engineering & Consulting

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル
TEL: 03-5789-2455 FAX: 03-5789-2585
Email: cec-marketing@cec-ltd.co.jp
URL: <https://www.cec-ltd.co.jp/>

販売代理店